



- 14号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 木村 格
 〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

どう考えますか『総合科』

宮城病院長 木村 格



いつも宮城病院をご利用いただき誠にありがとうございます。病院の職員一同は新しい理念「良い医療を安全に、心を込めて」に沿って、ご利用いただく全ての方に満足していただける医療の実践を心がけております。どうぞよろしく願いいたします。

さて、我が国では今、内科、小児科などの幅広い領域について総合的かつ高度な診察能力を有する総合科の創設を考え、厚生労働省は総合科を担当する「総合医」を国が認定することと提言をしています。

これは、「病院を利用する皆さまがどの診療科を受診すれば良いのかわからない」、「複数の合併症を持つ一人の人が、細分化した多くの専門医の診療を同時に受けなければならない」、「地域でも、一人の人が複数の病院や診療所を掛け持ちしなければならない、薬も病院ごとにバラバラで全体を調整することができない」など、現状での問題を踏まえてのものです。専門に細分化し、一人ひとりを総合的に診療することが難しい現状があります。

総合医はどの専門医師に紹介するかを仕分けするのが役割ではありません。特別に難しい手術や一般病院ではできない処置が必要な場合には専門病院を紹介しますが、総合医自身が広く確実な経験と技術を持って、一人の方を総合的に、その人に最も相応しい方法で長期間にわたってお世話するのが目的です。自分の専門領域以外の一般的な病気に対しても一通りの知識を持ち、診療や処置ができる医師というイメージだと思います。

宮城病院はこの地域で唯一入院設備を持つ病院であり、地域医療での大きな役割を担っています。6月からは診療所の先生と一緒に入院患者さまの診療ができるオープン病院の認定を受け、新しい方式で順調に進んでいます。患者さまがかりつけ医の外来から入院治療、そして退院後にも切れ目のない適切な医療の提供ができるよう努力をしています。この地域の一人ひとりの方を総合的に診療できる専門医「総合医」は宮城病院のような地域基幹病院にこそ必要な制度にも思えます。皆さまは新しい診療科「総合科あるいは総合内科」そして「総合医」についてどうお考えですか。



雨上がりの不忘山 (写真提供：木村院長)

形成外科開設のお知らせ

12月より形成外科の診療を開始する予定です。形成外科は手術後や外傷による傷、床ずれなど体のさまざまな傷害を治療します。専門医が東北大学附属病院とみやぎ県南中核病院からの支援で診療にあたります。

実習指導者講習会の伝達研修

この研修で私は臨床指導者としての姿勢をたくさん学べる事ができた。特に実習では指導者と学生の関わりが重要で、指導者がどう関わるかで、学生の成長が変わることがわかった。指導者が学生を一人の人間と認め、共に看護を行っていく後輩として尊重し関わることで、学生の成長が変わると考える。一方的な指導でなく、学生と指導者がお互いの理解を深めて、同じ目標に向かい、学生と共に学び成長していく姿勢が大切であることを学んだ。

また、実習の中で、学生が看護の喜びや楽しさを感じるとともに、看護職にやりがいを持ってもらえるような関わりをもって指導にあたっていきたいと思う。

(第2病棟副看護師長 渡邊 いづみ)



この研修では、まずは教育とは何かから始まり、看護教育課程や看護論を学び、主要概念である「人間」「環境」「健康」「看護」とは何かを話し合い、この概念が看護にとってとても重要であることを再認識し、今までの看護を振り返り、看護観を見直す良い機会となった。

また、二日間の臨地実習は、不安で緊張し学生の心理を再び体験することができた。病棟・スタッフの雰囲気、態度、表情などの環境が、学生が実習する上で重要であることを学んだ。

指導するに当たり、今時の学生を理解し、良い所は言葉に出して褒め、間違っているとしても否定せず、何が間違っていたのか一緒に考え、学生が分かるように導いていくようにすることが大事であるということも学んだ。

9月から3病棟にも学生が実習に来ているので、この研修で学んだことを学生指導に活かし、学生と共に学び、成長していきたいと思う。

(第3病棟看護師 小林 直子)

講義では今まで知らなかった知識を得ることができた。看護の概念(人間・環境・健康・看護)を話し合い共通理解し、その後の看護観のレポート作成では、仕事に追われて深く考えることがなかった看護について、今までを振り返り見つけ直しじっくり考える良い機会になった。

施設研修では、実際に学生の心理を体験した。学生が緊張と不安の中で実習に望んでいることがわかり、学生が楽しく実習をできるように受け入れる指導者の態度や態勢を整えることが重要だと理解できた。本当に笑顔は大切である。これらの学びから、研修に参加してよかったと思う。当院でも実習生を受け入れている。全スタッフが指導者として学生に看護の魅力や楽しさを伝え、共に成長していけるようにしましょう。皆さんスマイルですよ~!

(b病棟看護師 大場 摩理子)

接遇向上活動について【看護部の取り組み】

私たち副看護師長は、6年前より看護師の接遇に対する意識が向上し、全病棟看護師の接遇が良くなるように、接遇マニュアルを作成したりポスターを掲示するなど副師長のグループで活動を行っています。

昨年は接遇カレンダーを作成し全病棟で使用しています。みんなで作ったカレンダーなのでかわいいイラストあり、季節を感じさせるものありと様々で、楽しいカレンダーにすることができました。

今年度はそのカレンダーを活用し病院全体で、毎月共通のテーマにそった取り組みを行っています。9月のテーマは『会話の工夫』ですが、高齢者の多い病棟では、「患者さんへの説明はわかりやすい言葉で、ゆっくり話しましょう。」、重症児(者)病棟では「年齢に適した呼称や言葉づかいをしましょう。」など、それぞれの病棟の患者さんにあった具体策を立てています。

これからも、患者さん・家族の方に安心して満足できる入院生活を送っていただくために、一番患者さんの身近にいる看護師が、優しさと思いやりをもって接していけるよう、この活動を続けていきたいと思ひます。

(あすなる3病棟副看護師長 伊藤 充子)



職場紹介 ~ 内科外来 ~



4人のピ女が、患者様にやさしい外来をめざし、日々笑顔で勤務しています。子育て真っ最中で週3回の勤務の中でも、自分を高めていきたいという思いを持ち続けているスタッフもあり、頼もしいかぎりです。また、神経難病の音楽療法も担当させて頂いています。病棟の皆様にはいつもご協力いただきありがとうございます。

内科外来は、内科を始め、呼吸器科、循環器科、リハビリ科を始め、専門外来(漢方、頭痛、脳ドック、AGA)も行っています。先日は、全国誌の病院紹介担当者から、頭痛外来の問い合わせがありました。宮城病院も全国区です。個性豊かな先生方に囲まれ、患者数は増えつつあるものの、もう少し増えるといいなと思うこの頃です。

(中央材料室看護師長 佐々木 千恵子)

当院は、平成9年10月の開院で、平成12年10月より院長を私が引き継ぎ、今に至っています。

現在の診療体制は、理事長の浅野俊弘先生と私で担当し、一般的な眼科検査の他に特殊な検査として、緑内障の早期発見と経過観察のため視神経繊維層の厚さを解析する「GDx-VCC」や、涙液の状態をカメラで観察しドライアイの重症度を評価することができる「DR-1」などを備えています。最近本邦では正常眼圧の緑内障が少なくないことや、目の疲れを訴える方の中に意外とドライアイが原因となっているケースが多いこともわかっていますので、気になる症状がある場合は気軽にご相談いただければと存じます。

糖尿病網膜症などの眼底疾患に対しては、外来にて蛍光眼底検査やレーザー治療をしており、白内障手術は、金曜日の午後に一泊二日入院で行っています。今の白内障手術は、超音波手術や折りたたみレンズの普及により3mm強程度の切開創でできるようになり、患者さんの負担軽減や術後早期の視力回復の面でも、私が医師としてスタートした20年前とは大きな進展が見られます。

日頃、宮城病院の諸先生には、術前の全身状態の問い合わせなどでお世話になり、感謝しております。これからも眼科医として地域の中でお役に立てるよう力を尽くしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

(巨理浅野眼科医院長 木村 洋子)



巨理浅野眼科医院のご紹介

【診療案内】 院長 浅野眼科医院 (巨理浅野眼科医院)

(平成19年10月1日開院) 〒989-6294 宮城県巨理町字新町24 TEL.10923-34-0755

曜日	午前 (9:30-12:30)	午後 (12:30-5:00)
月	木村 洋子	輪島 浩二
火	木村 洋子	木村 洋子
水	浅野 俊弘	浅野 俊弘
木	浅野 俊弘 (予約制) 診療科目は眼科のみです。	
金	浅野 俊弘	休診
土	浅野 俊弘	休診

※ 診療 眼科 白内障 緑内障 糖尿病・網膜症、検眼です。

診療科 / 眼科

住 所 / 〒989-2351

宮城県巨理郡巨理町字新町24

TEL / 0223-34-0755

主な紹介医療機関 (平成19年4月～9月末日現在) ご紹介ありがとうございます

- ・松村クリニック (58件)
- ・公立相馬総合病院 (37件)
- ・みやぎ県南中核病院 (29件)
- ・平田外科医院 (25件)
- ・金上病院 (25件)
- ・羽根田医院 (21件)
- ・宮城県立がんセンター (20件)
- ・渡辺病院 (17件)
- ・山形外科医院 (17件)
- ・菅野医院 (16件)

上位10医療機関、他142医療機関からご紹介いただいております。

生活習慣を見直そう～高尿酸血症～ 医師から

昔は高尿酸血症 = 痛風と考えられていましたが、高尿酸血症の背景には、**過食、アルコール多飲、肥満**が存在することが多く、生活習慣病の一部として高尿酸血症をとらえる必要があります。

高尿酸血症・痛風治療ガイドラインによると、**血清尿酸値7.0 mg/dl以上が高尿酸血症**と定義されています。高尿酸血症を来す原因は様々ですが、他の疾患が原因でない原発性と呼ばれる高尿酸血症が大部分です。高尿酸血症は、主に**足趾が腫脹し発作性の疼痛を起こす痛風発作と尿酸結晶の沈着による腎機能障害**の原因になることがあります。痛風発作に対しては対症的に急性期治療を行います。あくまでも**日頃からの予防が第一**です。肥満が有意に高尿酸血症と相関しますので、肥満のある方は、**毎日の食生活、運動**についてご注意ください。尿酸排泄促進薬、尿酸生成抑制薬などの服用はあくまでも補助的なものです。摂取そのものが肝臓での尿酸生成を促進しますので、アルコール摂取に制限が必要になります。高尿酸血症のある方は、日本酒なら1合、ビールなら500ml、ウイスキーならダブル1杯程度に飲酒を控えましょう。

また、精神的ストレスの持続が生活習慣病の発症、増悪と有意な関係がありますので、ストレスを感じ続ける環境にあれば、環境の改善を図る必要があるでしょう。またリラックスできるように自分を変えていくことも必要と思います。



(内科医師 志澤 聡一郎)

診療案内

平成19年10月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		佐藤 智彦	木村 格	木村 格	佐藤 智彦	仙台医療センター医師
				志澤 聡一郎		
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
神経内科	新患	木村 格	清水 洋	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史
	再来	今井 尚志	今井 尚志	松本 有史	久永 欣哉	志賀 裕正
		清水 洋	大隅 悦子		木村 格	平岡 宏太良 (高次脳機能障害)
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科		未 定				
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
外科				小島 誠一 (13時から)		
整形外科		芳賀 盛 (13時~14時30分)				
脳神経外科		松本 乾児	安藤 肇史	松本 乾児	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大医師 第4(木)のみ	
リハビリテーション科		佐藤 智彦				
					大隅 悦子 (午後・再来のみ)	
		齋藤 佐		齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来			久永 欣哉		
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来					平岡 宏太良
	漢方外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	頭痛外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	脳ドック	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	A G A 外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承ください。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5km^ポ イトの位置です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

